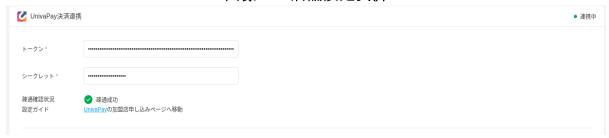
Univapayの連携方法

I.Univapayの連携:

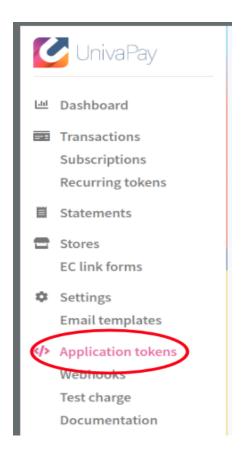
画像01:店舗設定決済



ステップ1: https://merchant.univapay.com/dashboard にログインする

ステップ2:アプリケーショントークン(Application tokens)を作成する

· 「Application tokens」を押下する

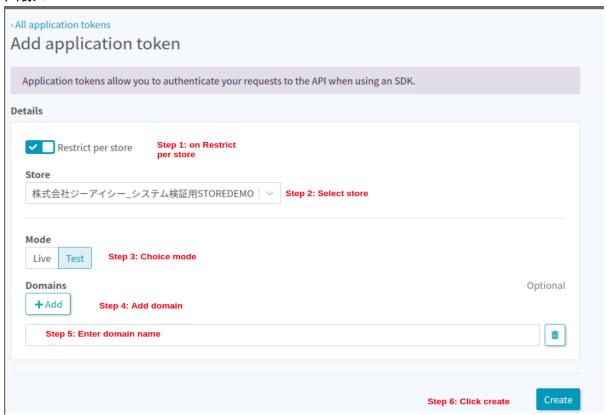


・「+ Create」を押下する



・「Restrict per store」ONを押下する→「店舗」を選択する→ドメインを追加する→「Create」を押下する

画像:



- ・「Restrict per store」をONにする:ドメインを追加できる(ドメインを追加しない場合、univapayの決済フォームをウェブサイトに表示できない)
- · Choice mode:

Live (実際のカード決済トランザクションで実施する)

Test (テストカードを使用した決済トランザクションで実施する。例: **4242 4242** 4242)

・Enter domain name:システムドメイン「gic.staging-r.ar-xia.com」を入力する 作成が成功した場合、「Token」と「Secret」が画面上で表示される

Add application token You have created a new token. Its token and secret is displayed below. Please store the secret somewhere secure, this is the only time it will be displayed to you! Details Token E G Mode Test

tokenとsecret情報は、忘れたり紛失しないようにワードファイル(注)に保存する。

· 「I have stored the secret」を押下する

ステップ $\mathbf{3}$: 先ほど取得した「token」と「secret」の情報を「画像 $\mathbf{0}\mathbf{1}$: 店舗設定決済」画面に入力する

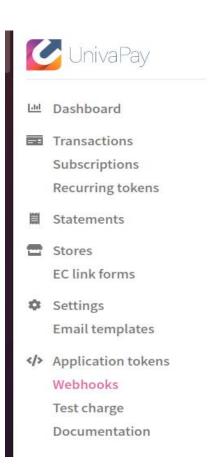


ステップ4:Webhooksの設定

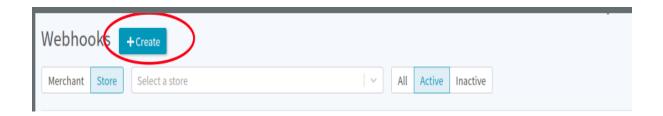
Webhooksは、ウエブサイト (Univapay) でイベント (決済の成功、失敗など) が発生したときに、ウエブサイト (Univapay) が自動的にシステムに通知し、リアルタイム データを送信できるようにする機能である。Webhookは、システムの運用と情報の交換をするのに役立つ。

その目的は、決済が完了すると、Univapay が結果をシステム (GIC) に返し、予約情報を更新することである

・「Webhooks」を押下する



・「Create」を押下する



・URLを入力する→ Restrict per storeのOnにする →「Triggers」にチェック入れる →「Create」を押下する

URL (ステージング) : <u>https://api-gic.staging-r.ar-xia.com/api/hook_payments</u>

Triggers:画像の通りチェック入れる

